



# 学習塾ウィル2019年度募集要項

募集人数 (各学年 定員28名)	東所沢教室		新所沢教室		所沢教室	
	新中学3年生	現在満席	新中学3年生	残り6名	新中学3年生	残り10名
	新中学2年生	現在満席	新中学2年生	現在満席	新中学2年生	残り20名
	新中学1年生	現在満席	新中学1年生	残り10名	新中学1年生	残り22名
	新小学6年生	残り11名	新小学6年生	残り24名	新小学6年生	残り25名
	新小学5年生	残り23名	新小学5年生	残り25名	新小学5年生	残り27名
新小学4年生	3/3より新規募集! 28名	新小学4年生	3/3より新規募集! 28名	新小学4年生	3/3より新規募集! 28名	
入塾希望者対象 説明会	2019年3月3日(日) 13:00~14:00		2019年3月3日(日) 13:00~14:00		2019年3月3日(日) 13:00~14:00	
	※全学年を対象にウィルの方針をご説明させていただきます。なお、新小学4年生は説明会終了後募集開始となっておりますので、その前での体験授業およびご入塾は受け付けておりません。恐れ入りますがあらかじめご理解ご了承下さいませようお願い致します。			全学年対象	予約不要	途中出席・途中退席可
小学部 入塾基準	1 現在、公立小学校に通われていて、入塾時点で中学受験を考えていないこと。 2 クラスチームに代表されるような、本格的な習い事をしていないこと。 3 午後10時までは必ず就寝する習慣があること。 以上が原則です。その上で、ウィルでがんばりたい、ウィルのメンバーになりたいと思ってくれるみんなを、僕は待っています。一緒に学習を楽しもう!			1 適性検査において各科目30点以上であること。 2 中学校進学後、ウィルの時間割を優先できること。		
	1 現在、公立中学校へ通われていて、入塾時点で通知表に「1」が無いこと。 2 クラスチームに代表されるような、本格的な習い事をしていないこと。 以上が原則です。その上で、ウィルでがんばりたい、ウィルのメンバーになりたいと思ってくれるみんなを、僕は待っています。28人みんなでがんばろう!			1 適性検査において各科目基準となる数値を超えていること。 2 ウィルの時間割を優先できること。特に、中学3年生からは、他の習い事よりも塾を優先できること(部活動は除く)。		
中学部 入塾基準	1 現在、公立中学校へ通われていて、入塾時点で通知表に「1」が無いこと。 2 クラスチームに代表されるような、本格的な習い事をしていないこと。 以上が原則です。その上で、ウィルでがんばりたい、ウィルのメンバーになりたいと思ってくれるみんなを、僕は待っています。28人みんなでがんばろう!			1 適性検査において各科目基準となる数値を超えていること。 2 ウィルの時間割を優先できること。特に、中学3年生からは、他の習い事よりも塾を優先できること(部活動は除く)。		
	1 現在、公立中学校へ通われていて、入塾時点で通知表に「1」が無いこと。 2 クラスチームに代表されるような、本格的な習い事をしていないこと。 以上が原則です。その上で、ウィルでがんばりたい、ウィルのメンバーになりたいと思ってくれるみんなを、僕は待っています。28人みんなでがんばろう!			1 適性検査において各科目基準となる数値を超えていること。 2 ウィルの時間割を優先できること。特に、中学3年生からは、他の習い事よりも塾を優先できること(部活動は除く)。		
入塾までの 手順	入塾希望者 対象説明会					
	体験授業の 予約					
注意事項	体験授業					
	入塾の意思表示および 適性検査の予約					
注意事項	適性検査					
	教室長との 入塾面談					
注意事項	入塾に必要な手続きは、 ①お問合せ(塾の説明を聞く)→ ②体験授業の予約→③入塾の 意思表示の3ステップです。 もちろん、途中で気が入れられ なければそのままご連絡いた だなくて構いません。また、入 塾の意思をいただくで、ち ろからご連絡させていただく こともございません。入塾す るのにかかる費用、塾料、入 塾料、入塾料、入塾料、					

# Will News Paper

## INDEX 目次

- P2……小学部 教務方針
- P3……中学部 教務方針
- P4・5……今年度卒業生の実績・  
昨年度卒業生の保護者の声(一部記載)
- P6……保存版  
埼玉県公立高校ランキング
- P7……学習塾ウィル沿革
- P8……募集要項・料金表など

## 2019

対象学年  
小学4年生~中学3年生

## 2019年度 生徒募集スタート

お待たせしました!年に一度の広告です。共に学ぶウィルの仲間を募集します!



## Event schedule その他の試み……

<b>大学見学会</b> 早い段階で大学という未知の世界を実際に自分の目で見てもらいます。将来の目標が見えてくるかも?	<b>卒業生による座談会</b> 受験を一度経験した先輩たちの話が聞ける!いち早く受験をイメージすることができると好評。	<b>塾内開催 私立高校進学説明会</b> 塾生の志望校へウィルが直接交渉。私立高校の入試担当者があなたのためにだけに説明をしてくれます。	<b>課題図書(国語受講者のみ)</b> 「本が身近にある生活」を送り、読書の楽しさ・素晴らしさを実感し、「読書好き」になって欲しいというのが私たちの願いです。将来的に色々な本を自主的、能動的に読み進めることができるよう、1年間で1~2冊程度の「課題図書」を指定し、「課題図書」を題材にした授業も行います。
<b>社会見学会</b> 「子どもに興味を持たせるために、まずは知る機会を増やす」をモットーに講師引率の下、みんなで都内有名博物館へ行きます。子どもたちのしやぎっぷりといったら、もう大変です。	<b>塾内開催 公立高校進学説明会</b> 県立高校の先生が、県立高校のすばらしさを生徒に直接語りかけてくれます。その複雑な入試選抜の方法もわかりやすく解説。不安がすっきり解消されます。	<b>入退室メール配信システム</b> ウィルでは、生徒の入退室をメールで保護者にお知らせするサービスを行っています。これでお子様の通塾、とりわけ帰宅時間に関しても、保護者の方に安心していただけると思います。	<b>NO BOOK NO LIFE</b> 子どもたちに、本に囲まれた生活を。

平常授業料金表				
学 年	科 目	授業時間数(週)	授業料(月額)	諸費用(半年分)
中学3年生 (3科目必修)	英語・数学・国語	3教科(90分×3)	28,080円	32,400円
中学2年生 } (科目選択)	英語	3教科(90分×3)	25,920円	27,000円
	数学(算数)	2教科(90分×2)	17,280円	21,600円
小学5年生	国語	1教科(90分×1)	8,640円	16,200円
小学4年生 (科目選択) ※英語なし	算数	2教科(90分×2)	17,280円	21,600円
	国語	1教科(90分×1)	8,640円	16,200円

※上記料金はすべて消費税8%を含んだ料金となっております。※兄弟姉妹割引(諸費用・平常授業料・選択講座の全てが半額)あります。

**開塾時間(受付時間)**  
 平日 16:00~22:00  
 土曜・祝日 15:00~22:00  
 日曜 休館日  
 ※3月2日(土)、3月9日(土)は休館日。  
 3月23日(土)~3月26日(火)までは  
 講習前準備期間として特別休館日となります。

**■東所沢教室**  
 TEL: 04-2951-6311 FAX: 04-2946-0006  
 ※お問い合わせはお電話の他、E-mailでも承っております。(代表 橋井)  
 E-mail: higashitokorozawa@will-school.co.jp

**■新所沢教室**  
 TEL: 04-2943-1862 FAX: 04-2943-1863  
 ※お問い合わせはお電話の他、E-mailでも承っております。(代表 富田)  
 E-mail: shintokorozawa@will-school.co.jp

**■所沢教室**  
 TEL: 04-2935-4247 FAX: 04-2935-4148  
 ※お問い合わせはお電話の他、E-mailでも承っております。(代表 藤原)  
 E-mail: tokorozawa@will-school.co.jp

# Will News Paper

## INDEX 目次

- P2……小学部 教務方針
- P3……中学部 教務方針
- P4・5……今年度卒業生の実績・  
昨年度卒業生の保護者の声(一部記載)
- P6……保存版  
埼玉県公立高校ランキング
- P7……学習塾ウィル沿革
- P8……募集要項・料金表など

## 2019

対象学年  
小学4年生~中学3年生

## 2019年度 生徒募集スタート

お待たせしました!年に一度の広告です。共に学ぶウィルの仲間を募集します!



同じ場所で、同じ時を過ごす28人。共に成長し合える、かけがえのない仲間。先輩から後輩へ、受け継がれる伝統と絆。だからこそ続く、安定した高い実績。

# キミのもう一つの学校になる!

**定員制 県立高校受験専門**



選ばれているからには理由がある

学習塾 Will Scientia est potentia

無料

2週間最長の体験授業を  
実施しています。

「貴重な時間やお金をムダにしないために!」

目標は県立高校!  
県立高校入試に  
特化した  
カリキュラム。

集団授業で  
「絆」を広げ、  
個別指導で  
知識を積み上げる。  
定員制だからこそ  
できる質の高い環境。

「数」に聞かれる人  
などもういない!  
全員が伸びてこそ  
「教務力」。  
平均偏差値が  
教務力の証。



http://www.will-school.co.jp/



# 小学部

小学4年生～  
小学6年生  
Elementary School

# 公立中 + 塾 ≥ 私立中

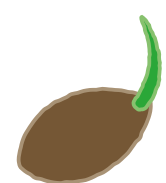


# 中学部

中学1年生～  
中学3年生  
Junior High School

## 「公立中の良さ」を最大限に活かす指導体制

## 子供に「思考の種」を蒔こう。



ウィルが考える

中学校へ上がる前に、子供の心に蒔いておきたい「3つの種！」

# 考

### 種々の1「考える力」の種

- “知ること”、“わかること”。その一瞬に喜びを感じる心。
- 悩んで、試して、また悩む。脳に汗を掻きつつ工夫を愉しむ心。
- 思考を止めない！時間の許す限り、自分ととにかく考え抜く心。

勉強は自らを育てるために行うもの。自分が成長していないのなら、それは勉強とは言いません。」「できなかったことが出来るようになる。ちょっとした変化であっていい。成長を実感できることが大切なのです。しかし、「1日1時間、机に向かいなさい」とか「1日3ページ進みなさい」というようなシバリが、事の本質を失わせてしまうのでしょ。そのことが目的になってしまい、本来の目的である“考える”ことに意識が及んでいない子どもたちが如何に多いことか。ウィルでは、幼い子どもたちの心に「考える」とは、どうということか」を時間をかけて伝えていきます。

# 競

### 種々の2「競う力」の種

- 昨日の自分よりも成長したいと思う心。
- 周りの誰かよりも成長したいと思う心。
- 目標に向かって努力し、互いに高め合うことを美しいと思う心。

「切磋琢磨」という四字熟語があるように、競い、励まし合い、成功したり、時には失敗したりする中から、人は学び、習得し、そして成長していきます。子供たちには、文部科学省ならびに小・中学校が極力避けさせようとしてきた「競争」をもっと肯定的に捉え、とかく目が行きがちな「勝ち方」だけではなく、「負け方」も含めた「競い方」を学んでもらいたい。そう私たちは考えています。「負けたとき、失敗したとき、それをどう捉え、次に活かしていくのか。」この姿勢が、子供の伸びに大きな差をつけるのです。

# 耐

### 種々の3「耐える力」の種

- 自分の思い通りにならなくても、きちんと受け入れることができる心。
- 失敗を肯定的に捉え、失敗から何かを学ぼうとする心。
- 決して腐ることなく、自分の未来を描き続けられる心。

友達と競った、でも負けてしまった。子供のやる気が削がれてしまう瞬間です。しかし、そんな時にこそ「何がいかなかったんだろ？」と振り返って、次に活かそうとする心を身に付けてもらいたい。だからこそ、私たちは「その瞬間」を見逃しません。大事なことは「失敗した後に」にあるからです。答えがみつかるまであきらめることなく、試行錯誤を繰り返して、自分の力でその答えにたどり着いた時、子供たちの目は輝き、さらに先へと向かおうとします。こうやって目をキラキラさせている生徒たちが、ウィルにはたくさんいます。

# 生きる力

本当の「学ぶ力」を養うための種を蒔き、芽吹いた苗を大切に育てます。

ウィルの小学部は、中学受験を意識した授業は行いません。柔軟な心を備えた小学生のうちに、身に付けるべき「基礎学力」の定着と、この時期に携えるべき「全般的な知識」の習得、この2つをテーマに“**当たり前の基準**”を高める教育に力を入れています。

### 小学生だからこそできること。

私たちは、柔軟な心を備えている小学生時代を、受験のためだけの実践的なテクニックの習得に充てるのではなく、将来自らを大きく育てていく礎となる「意識」や「態度」の育成に、より多くの時間を充てるべきだと考えています。

小学生のうちに培った「意識」や「態度」は、その後の人生を決めるといっても過言ではありません。これを疎かにして、ただ点数をとることに何の意味があるでしょう。

小学生の持つ柔軟性、吸収力を最大限に活かして、「基礎学力」の定着、科目の壁にとらわれない「全般的な知識」の習得はもちろんのこと、「これができて当たり前」「これくらいやって当たり前」という“**当たり前の基準**”を引き上げることには重きを置いています。



### 小学校入学

**中学2年生**  
一気に授業内容が難しくなる時期。ここを疎かにすると、中3になった時に伸び切れません。この学年は、知識の土台をしっかりと固めていく時期。一つ一つ確実に積み上げていくことが、その後の伸びに大きな影響を与えます。多感な時期ゆえに非常に気を遣う学年です。

**中学1年生**  
中学1年生は勉強に対する姿勢を決めてしまう大事な時期。学力はもちろん大事ですが、それ以上に、学ぶ姿勢を身につけることに力を注ぐべき時期だと考えています。この学年では、知識よりも意識、点数よりも姿勢を重視します。

**中学3年生**  
さあ！義務教育の集大成です。今まで培ってきた力が、同じ目標を持った仲間たちと学び合う相乗効果で一気に花開きます。これこそがウィルの生徒がずばらしい実績を出している一番の理由だと考えています。

### 中学校入学

**小学6年生**  
中学に入る前に意識で差をつける「夢や目標の種」を1人1人にしっかりと蒔いていきます。それが彼らのパワーとなるのですから、もちろん、基礎学力もここでガシッとつけさせます。



県立高校入試に  
とにかく強い



じっくり  
時間をかけた  
指導

特長

## 1 県立高校受験専門のカリキュラム

「やっぱり学校が基本!」あくまで学校の授業を中心に据えた「**復習重視**」の基礎から育てるカリキュラム。学校の妨げとなる「先取り」ではなく、「後追い」によって、学力差のある公立中学校では行うことのできない内容まで補完していきます。「難解な問題を6割程度」という難関私立高校とは違い、難関県立高校は「基本的な内容を9割程度」が合格のキーワードです。ウィルでは、他の塾と異なり、名門私立高校入試に必要な学習内容に授業時間を割きません。その代わりに、県立高校入試に必要な基礎学力の定着に時間をかける。だからこそ、県立高校受験で圧倒的な強さを保てるのです。

これで私立も  
安心

特長

## 2 推薦支援制度

「私立受験はどうするの?」県立受験だけを見据えたカリキュラムで私立にも対応するには…  
そのために考え出された**ウィルだけの秘策!**

「県立高校受験専門のカリキュラム。それでは私立高校受験はどうするの?」という保護者の方々の声を受け、埼玉県の入試制度に基づき私たちが考案した“ウィル独自の進路指導制度”である「推薦支援制度」。

保護者の方々に代わり、私立高校探しから私立高校の入試相談まで、塾が全面的にバックアップすることで、県立第一志望校も安心して受験に臨むことができます。

内容を詳しくは明かせないのが残念ですが、この制度により、多くの生徒が有名私立校に推薦という形で安全に合格しています。

あこがれの  
志望校へ

キミのもう一つの  
母校になる。  
卒業してもずっと  
仲間!

特長

## 3 定員制

「一人で頑張るより、みんなで頑張る方が断然おもしろい!」  
集団指導と個別指導を併せ持った、ウィルの「**定員制指導**」。

「学校を選ぶときにはあれほど参考になる進学実績も、これが塾になると、どうもいまいち信憑性に乏しい。」  
このように、学校に比べ塾の教務力が見えにくいのは、生徒の入塾の時期がバラバラであることや、入塾してくる生徒の志向、また元々備わっている学力によって、その実績が毎年のように大きく変わるということに原因があります。

来る生徒、来る生徒を、時期にかかわらず、際限なく受け入れる。いつ、どのような目標を持った生徒が入ってくるかわからない、クラスの人数が何人になるかもわからない。そもそも、このような状態が生徒指導にプラスに働くはずがありません。

ウィルでは、私立中学にも負けない教育を掲げ、あたかも学校のような仕組みを多く採り入れています。その中の1つが、この定員制です。各学年28人(12人・16人の二クラス体制)の定員を満たした段階で募集終了、それ以上生徒が増えることはなく、そのメンバーで卒業まで一緒に学んでいきます。

メンバーが固定されると、一人一人の個性を理解した上で、長期的な指導を行うことができるようになります。生徒が途中で入塾してくる可能性を考えなくていいわけですから、付け焼き刃ではない、本当の学力をじっくりと時間をかけて育てることが出来ます。公立にないが、私学並み、いや、それ以上のハイレベルな内容まで取り扱うことができるようになるのです。

さらに、この28人はそのまま、卒業まで共に学ぶ仲間となります。これが結束力、連帯感を育てないはずがありません。「ウィルの生徒である」というこの絆が、彼らの成長にどれほどの影響を与えているか。これは生徒たちの顔を実際に見ていただく以外に、お伝えすることはできません。

授業の日以外でも、中学3年生を中心に、毎日のように集まってくる生徒たち。ウィルを「もうひとつの学校」と呼んで、母校のように愛着を持ってくれる教え子たち。卒業後も、近況を報告してくれたり、後輩たちにいろいろとアドバイスをしてくれたりする先輩たち。講師として戻ってきた先輩たちの姿を見て、「自分もしっかり頑張って、またここに戻ってきて、後輩たちに教えるんだ」と自らを奮い立たせた先輩たち。

「ウィル〇期生同窓会」なんて言って、高校や、大学へ進学した後も集まる卒業生たち。  
このような、長く受け継がれてきた雰囲気、いわば伝統が、ウィルが特別な塾と呼ばれ、高い教務力を維持できている一番の要因だと思っています。







偏差値	浦和方面	大宮方面	川口方面	越谷・草加方面	坂戸方面	新座・朝霞・和光方面	川越・所沢方面	入間・狭山・飯能方面
ss67	浦和高校 浦和第一女子高校 市立 浦和高校	大宮高校		春日部高校			川越高校 川越女子高校	
ss63	浦和西高校		蕨高校	越谷北高校			所沢北高校	
ss60	市立 浦和南高校	伊奈学園総合高校 市立 大宮北高校	川口北高校	越ヶ谷高校		和光国際高校	所沢高校 川越南高校	
ss55	浦和北高校 与野高校		川口市立高校	越谷南高校	松山高校 坂戸高校 松山女子高校	朝霞高校	所沢西高校 市立 川越高校	
ss50	浦和東高校	大宮光陵高校	南校高校 川口高校	越谷西高校	草加南高校 草加東高校	朝霞西高校	川越西高校	入間向陽高校 豊岡高校
ss45		大宮武蔵野高校 大宮東高校	鳩ヶ谷高校 川口東高校	越谷東高校 三郷北高校 草加西高校	小川高校	志木高校	所沢中央高校	飯能高校 狭山清陵高校 飯能南高校 狭山緑陽高校
			川口青陵高校 戸田翔陽高校	松伏高校	鶴ヶ島清風高校 日高高校 越生高校	新座柳瀬高校	ふじみ野高校 富士見高校 川越初雁高校	
		大宮中央高校			三郷高校 吉川美南高校	新座高校 和光高校		

※普通科以外の専門科・専門コースは、募集定員が少ないこともあり、毎年難易度が変化します。そのため、このランキングには掲載しておりません。※公立高校の学区は2004年度入試より撤廃されましたが、所沢市からの通学時間が1時間を超える学校は掲載しております。

※男子校は青色、女子校は赤色。

いまや私立大学は、  
選ばなければ誰でも行ける！

埼玉県の  
高校

『本当に強いのはどこ?2018』

※高校進学ガイド(発売:中央公論社)より引用

資料  
1

国公立大学は  
私立大学とは違って  
**1人1校!**

順位	高校名	合格人数
1位	県立 浦和高校	226名
2位	私立 栄東高校(一貫部を含む総数)	192名
3位	県立 大宮高校	177名
4位	県立 春日部高校	169名
5位	私立 開智高校(一貫部を含む総数)	161名
6位	県立 川越高校	140名
7位	県立 熊谷高校	116名
8位	県立 浦和第一女子高校	113名
9位	県立 川越女子高校 市立 浦和高校(一貫部を含む総数)	112名

※11位～30位までの高校は、所沢近隣高校のみ記載しております。

順位	高校名	合格人数
11位	私立 大宮開成高校(一貫部を含む総数)	99名
14位	県立 蕨高校	86名
15位	県立 越谷北高校	81名
16位	私立 川越東高校	79名
17位	県立 浦和西高校	78名
19位	県立 所沢北高校	66名
	私立 淑徳与野高校(一貫部を含む総数)	
21位	私立 星野高校(一貫部を含む総数)	60名
22位	私立 狭山ヶ丘高校	56名
24位	私立 頤秀学院高校(一貫部を含む総数)	55名
25位	県立 川口北高校	52名
27位	私立 淑徳の里女子学院(完全中高一貫校)	46名
29位	私立 埼玉栄高校(一貫部を含む総数)	42名

## 国公立大学 合格者数ランキング

受験情報誌などを見ると、「現役大学進学率」は概ね私立高校の方が高く、私立高校の中には80%を超えるところも少なくはない。そのため、私立高校の募集担当者は「現役大学進学率」や「現役大学合格率」を用いて、県立高校との違いをアピールするが、その言葉をそのまま呑みにするのは少し危険だ。なぜなら、県立上位校の生徒は「学費が私立よりも破格に安い」という言い訳も手伝い、納得のできない結果であれば浪人することも厭わない、そんな環境にあるからだ。

一方、私立は逆にその学費の高さから、浪人は避げにくく、たとえ納得できない結果でも進学する傾向にある。そこに加えて、今の時代私立大学であれば、選ばなければどこかには入学できる。名前さえ書ければ受かってしまうような大学が出てきている。

そう、大学は今や「進学率」などではなく「進学先」が重要なのだ。

とはいえ、高い学費を支払って私立に選べず、卒業後に行くところが無くて浪人では、さすがに困ってしまう。結果的に、私立高校の場合、「現役進学率」「現役合格率」は高くなることになる。

しかし、これでは何の参考にもならない。繰り返すが、大事なのは、進学先なのだ。どこへ何人進学しているのか、その結果をもって判断すべきである。

そこで、注目したいのが「国公立大学への合格者数」である。国公立大学は、学費の安さ、伝統的な校風、教育環境の充実など人気が高い。しかし、募集定員も少なく、受験の教科数も多いということで、概ね難関だ。

また、一人で何校でも受けられ、何校も合格、のべ人数で表記される私立大学ではなく、「一人一校しか合格できない国公立大学への合格者数は、その高校の本当の実績を表しているとおみていい。

さて、埼玉県で本当に強い高校は一体どこなのだろうか。

これらの資料から、卒業生の人数や指導年数に違いがあるとはいえ、数字の上では、浦和・浦和一女を頂点としたヒエラルキーが崩れかけていると言える。旧制中学ナンバースクールの流れを汲む名門校である、浦和高校、川越高校、春日部高校、熊谷高校に、理数科を筆頭に「打倒!浦和」で年々進学実績を伸ばしている大宮高校、公立の中高一貫校として2007年4月に開校した市立浦和高校など、上位に位置している高校の大半はいまだ公立高校ではあるものの、開智高校や栄東高校を先頭に、私学の伸びが目を見張るものがある。県立王国として名高い埼玉県ではあるが、子どもにとって本当に良い高校はどこなのか、多すぎる選択肢に惑わられることなく、むしろ選択できる自由というメリットに変えられる、多角的な視点が必要になるだろう。

最後に

年 代	で き こ と
2000.2	横井(英語・社会)の呼びかけで、小林(国語・社会)・富田(算数・数学・理科)の2人と共に、朝延24歳で学習塾ウィルを立ち上げる。生徒数わずか10人というスタートで、まだ正式な塾生というわけでもない。資金も底をついていく中で、保護者の方々の差し入れに救われながら、自分の脚だけで信じて、だんだんと生徒数を増やして行く。
2001.3	初めての卒塾生として、高校3年生を2名、中学3年生を6名送り出す。ここからウィルがまわりました。熱意しかない、と言われてしまっても仕方ないような当分の便を借りてくれた8人の生徒たち。彼らは僕らにとっていつも特別な生徒です。
2001.4	初めての広告を出してみる。…が、まったく反応なし。広告の難しさと、世の中の厳しさを学ぶ。しかし、保護者の方々に支持していただき、紹介を中心に生徒数が30人を超える。
2001.8	夏期講習にて、「英語専攻100問テスト」を行う(生徒達には「鬼の100問テスト」と呼ばれ、以後、ウィルの伝統行事の一つとなる)。英語担当の横井が、中学3年生に対し、受験前に何か大きな「達成感」を与える方法はないものかと考案。※横井自らが、過去の県立入試および北辰テストなどを分析し、その中から厳選した「重要構文集300」を作成。それを8月1日にほぼ同時に配布し、8月末日にその中から100問を出題するといふもの。たゞ一朝にしろとも、合格するまで同じテストを幾度となく受け続けるため、単独が次の日の朝間にもなることも。計画的に日々を過ごすことの重要性を学ぶと同時に、集中力や精神力も培いつつと、卒塾生や保護者からは好評。在塾生は驚愕です…。
2002.3	2期卒塾生として、高校3年生1名、中学3年生13名を送り出す。この世代の生徒のうち2人が、大学生になってからは就職先として後輩たちのために戻ってきてくれました。こうやって教えるが大学生になって戻ってきてくれて、後輩たちのために力を尽くす。ウィルの教育力が定着している一番の理由かもしれません。
2003.3	3期卒塾生として、中学3年生13名を送り出す。ヤンチャな生徒が多かった世代、熱い生徒たちが多く、夜通し語り合ったこともありました。記憶に残る生徒が多かった年ですね。
2003.4	埼玉県中学校和東京都中学校和との間の受験における不利をなくすべく、生徒一人一人に選した私立高校を紹介、推薦することを目指す。ウィルだけの制度として、「推薦支援制度」を創出し広告を出す。同時に、その制度を適用するに、生徒数の上限を決める(各学年定員制)を導入。生徒数が一気に60人を超え、中学3年生に至っては定員超過20名が全て埋まる。
2004.3	4期卒塾生として、中学3年生20名を送り出す。偏差値60以上の高校へ合格する生徒が半数に迫る勢いと過去最高の成果となるも、一方で第一志望の高校を不合格にさせてしまつという言い難い結果をする。この経験がきっかけとなり、開校14年を過ぎると県立高校志望者と私立高校志望者とが見えるようになり、希望校に照らし合わせてクラス別による指導が実現するまでにかかるようになる。
2004.4	「推薦支援制度」(各学年定員制)に、県立高校に統一特化したカリキュラムで指導を行う「県立高校専門」を加え、この3本を柱とした指導体制となる。中学3年生に入塾希望者が相次ぎ、初めての「入塾説明会」が行われる。生徒数は80人を超え、定員を24名超過する。
2005.3	5期卒塾生として、中学3年生23名を送り出す。県立高校入試だけを目標にカリキュラムを組んで、そこだけに特化した指導を行ったところ、先輩層の入塾も、様々な学力の生徒が入塾しているにもかかわらず、生徒人数が半数を超え、偏差値が塾内平均56という過去最高の成果となる。半数以上が偏差値60を超え、7割近い数値を出す生徒も出る。やはり希望校別の指導がしっかりと成果を挙げている。
2005.4	「各学年定員制」「県立高校専門」「推薦支援制度」の3本を柱とする体制で広告を出すとともに募集が相次ぐ。中学3年生から小学5年生まで全学年が定員を超えるものとなり、急遽、指せん会開催の広告を配布。それぞれの学年で「指せん会」を行う。(なんと、5期生は生徒数も100人を超える(中高一貫校)の持ち方でも30人を超える)。保護者の方々に、「東大生に人気No.1の学習塾」と評してもらえるようになる。
2006.3	6期卒塾生として、中学3年生21名を送り出す。一貫指導体制移行前の最後の学年。この年の首席だった生徒が、3年後に国語科の主力として新所沢を引っ張ってくれました。
2006.4	中学部の各学年が満席のため、ついに小学部のかの募集となる。(※この年以降ずっと年度初めにおいては小学生のみの募集が続いています。)生徒数も約140名となり、入塾希望者の方々も含めると160名近くの大大所となる。保護者の要望により定員を28名に増やす。
2006.6	塾長が、誰にも内緒でスロウを始め。秋田、栃木、茨城、東京、神奈川、静岡、岐阜、石川、三重、鳥取、山口、宮崎などの塾の先生から「見学したい」との申し込みが舞い込み、一時期、アクセス数が全国一位になる。
2006.7	「大学見学会」として、中学3年生を卒塾生の通う大学へ連れて行くという企画を考案。卒塾生の通う早稲田大学に中学3年生になった7期生を連れて行ったところ、私たちが予想した以上に生徒たちは影響を受けたようです。登壇後すぐ、「勉強したい!」と意欲を燃やす生徒たち。夢がはっきり見えた時に生まれる「Wow」の強さを改めて驚かされました。
2006.12	小学生から同じ仲間! [3年間一貫指導]の贈物か?塾生の平均偏差値が61.8という大記録を、入塾時における選抜条件という条件下で打ち立てる。これは中学28人のおよそ3分の1の偏差値60以上という、業界最大手の進学塾でもない偉業!
2007.3	7期卒塾生として、初めての3年間一貫生となる28人を送り出す。最高に仲良しな7期生。彼らの絆は今もまだ続いているようで、私たちが子どもでもともてうれしいです。それに高校卒業や成人式、大学卒業の時に顔を会してくれるなんて、本当に教師冥利に尽きます。
2007.4	前年の成果が本物か否か、ウィルの教育力が試されたこの年。募集前にも小学6年生が満席となっていたため3月の募集は無し! ということで、この年の募集は開校以来初めて小学5年生と4年生だけでした。
2008.3	8期卒塾生として、28名を送り出す。男の子たちの数が多いのが特徴に就いては8期生、7期生同様、いや7期生以上に熱い受験となりました。平均偏差値も2年連続で60を超え、
2009.3	東所沢教室25名、新所沢1期生11名、卒塾。不安の声を力に変えて、東所沢教室は歴代最高(平均偏差値 64.3)の記録を達成。新所沢教室は初の卒塾生を送り出すことができました。
2010.3	東所沢では節目となる10期生28名、新所沢2期生14名、卒塾。入試制度および入試問題の改定と、埼玉県の受験生にとっては合格ラインの読めない戦いとなる中、ウィルっ子は最後の最後まで本当に頑張ってくれました。「勝ち負けよりも大事なものこそは手に入れてもらいたい。」毎年思うことです。
2010.4	東所沢教室だけではなく、新所沢教室までも過去最多の生徒数でのスタート。4年連続、両教室ともに卒塾生の平均偏差値60以上という記録が続き、この成果を継続するだけでなく、さらに進めていくために、2010年に全学年を高校1年生へ引き上げ、統一した年次。この年より、入塾時において、お子様の学力状況を保証者の方々並びに生徒本人に把握してもらうために「入塾適性検査」を行うことにする。

様々な機会を作っています。

社会見学、大学見学、課題図書を始め、県立や私立の高校の先生を招いて話を聞いたり、座談会で卒塾生からアドバイスを聞いたり、「つづなぐたい」という意志を育てるために、集団授業で「枠」を広げ、個別指導で知識を積み上げる。定員制だからこそできる贅沢な環境です。

1 学年年定員28人が、「県立入試」という同じ目標に向かって同じ時を過ごす。そこに生まれる仲間意識が「当たり前」の基準を高めます。

授業日はあくまでも集団授業の日。授業日以外の日は来ればいつでも個別指導の日。集団授業で「枠」を広げ、個別指導で知識を積み上げる。定員制だからこそできる贅沢な環境です。

途中入塾の少ない定員制だからこそ、目先の結果にこだわらない、長期的な視点に立った指導ができます。

県立高校受験専門とすることによって、無理に先取りすることのない、「復習重視」で基礎に時間をかけた指導をしています。

ウィルの特長

公立中学の長所を活かし、短所を埋めることによって、私立中学をも上回る教育を実践しています。

ウィルは生徒にとっての「もうひとつの学校」でありたいと願っています。授業日だろうがそうでなくても、いつだって来て構いません。勉強だけじゃない、先輩や後輩との結びつき、先生方との語り合いなど、いろいろなきっかけを与えられる学び舎でありたいと考えています。

学習塾ウィル 横井塾長

この沿革で、ウィルがどうやってここまで成長してきたのかがわかりますよ!ウィルはこれからも成長し続けます!



塾長横井の回顧録